

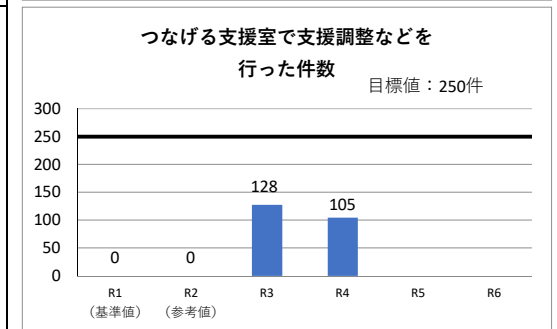
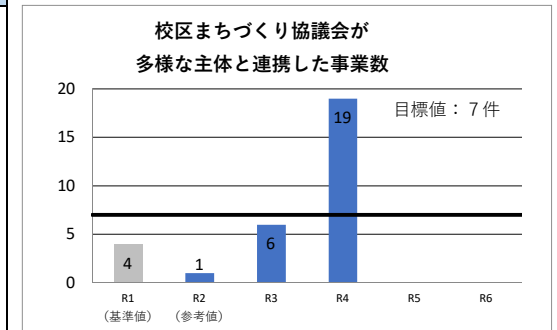
【第2期八尾市総合戦略における指標・KPI数値目標一覧】

資料2

(差替配布版：5ページ網掛け3箇所修正)

○基本目標1 地域特性をふまえたまちづくりが進み、安全・安心に暮らせるまち

指標・KPI	単位	基準年度	基準値	参考値	実績値	実績値	目標値	担当課	達成状況の原因分析、説明等
				R2年度	R3年度	R4年度	R6年度		
基本目標 指標	校区まちづくり協議会が多様な主体と連携した事業数	本	R1	4	1	6	19	7	コミュニティ政策推進課 実績値は上昇傾向にあり、令和4年度は目標を達成しているが、今後も地域住民が多様な主体（市民や地域、企業、NPO等）と協力・連携し、地域課題の解決に向けた活動が実践され満足度が高まっていくよう、課題共有や課題解決のアイデア創出・実践に向けた対話の場を創出し、更なる市民協働と地域自治の推進を図る。 【令和4年度取り組み内容】 ①ふれあい喫茶などの交流の場（久宝寺まち協とNPO法人寺内町久宝寺、久宝寺愛の郷） ②河内木綿の栽培（美園まち協と河内木綿藍染保存会、八尾観光ボランティアの会、府立農芸高校） ③大正北小学校区内のバトロール（大正北まち協と八尾南産業クラブ、大正校友会） ④JR八尾駅前広場の花壇とプランターの管理（永畑まち協とJR八尾駅、NPO法人HICALI） ⑤防災教室・防災まち歩き（高美まち協と学生団体はちのじ）
	つなげる支援室で支援調整などを行った件数	件	-	-	-	128	105	250	地域共生推進課 相談支援体制を整えたことにより、各窓口から適切な相談支援機関につながるできるようになり、「つなげる支援室」の本来機能である複合化・複雑化した課題を抱えた世帯にかかる相談が中心となった。そのため、実績値が計画値を下回る結果となったが、これまで介入が困難であったケースに対して、丁寧なアセスメントや課題整理、関係機関間の調整等、必要な支援につながる体制となっている。 さらに、相談支援の強化に加え、参加支援・地域づくり支援の一体的な充実を図るため、関係課及び機関で既事業の現状把握及び世代や属性を超えた取り組みの展開に向けた協議を行った。 また、令和5年度の重層的支援体制整備事業の実施に向け、関係課及び機関と協議を重ね、八尾市重層的支援体制整備事業実施計画を策定した。
施策 KPI	地域活動への参加状況	%	R2 (速報値)	61.9	-	59.6	57.3	69.0	コミュニティ政策推進課 令和4年度実績は前年度対比で下降しており、基準年度以降減少傾向にある。引き続き地域活動への参加を促す取り組みを行っていき、持続性の高い組織運営ができるように担い手の確保・育成等に関する提案や助言や情報提供の場の支援を行う必要がある。
	地区防災計画策定済み地区数	地区	-	-	0	1	2	28	危機管理課 地域の意向が強く反映される計画であり、取り組み内容の検討や丁寧な作り込みを進めていただいていることから、「策定済み」の段階に至るまで時間のかかる事業である。 R4年度は防災活動が活発な1地区において「策定済み」となり、11地区が計画策定に取り組んでいる。今後は計画策定をより推進するため、危機管理課職員においても地区担当を設けるとともに、策定済地区については計画に基づく防災訓練を実践し、計画の再評価や見直しを行い、地域の防災力が向上するよう取り組みを支援する。
	大阪重点犯罪認知件数	件	R1	295	272	296	294	245	危機管理課 重点犯罪認知件数については前年に比べ微減となっているが、令和2年度の件数よりは20件程度多くなっている。 各項目においては、部品ねらい件数は大きく減少したが、2年連続で特殊詐欺の件数が大きく増加しており、前年比約1.75倍となっている。 高齢者を狙った特殊詐欺については、府全体としても2年連続で増加しており、前年比で約500件以上増加し、特殊詐欺グループによる詐欺手法の多様化・巧妙化や闇バイトによる実行役の増加などが影響を及ぼしていると考えられる。
	避難行動要支援者名簿「同意リスト」を提供した小学校区数	地区	R1	13	14	14	15	28	高齢介護課 令和4年度より同意者リストと合わせて、避難行動要支援者自身が記入した「わたしの避難計画」についても地域に提供し、対象者の把握や防災訓練に活用された。また、土砂災害警戒区域に居住する重度の避難行動要支援者については、福祉事業者の協力を得ながら避難できる体制を構築した。これらにより、地域の支援者の負担感を軽減し、同意者リスト提供の小学校区数の増加を見込んでいく。
「高齢者見守りサポーターやお」協力事業者の登録数	事業者	R1	701	618	642	655	750	高齢介護課 事業者の新規登録もあれば廃止もあり、実績値が基準値から減少している。また、令和2年度以降は毎年、増加しているが、令和4年度においては、増加数が鈍化しており、引き続き、地域全体で高齢者を見守っていく意識の啓発を促し、登録者増に向け、府とも連携し事業周知に努める。	

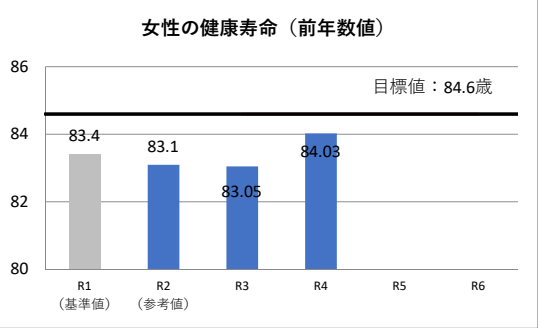
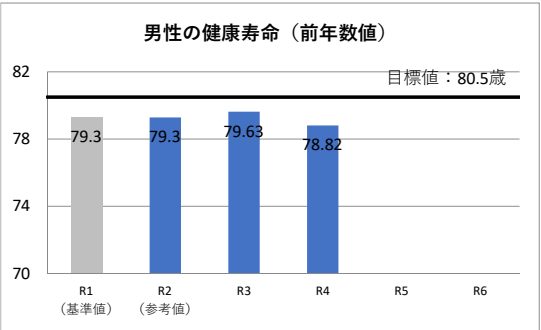


●令和4年度実績のまとめ

基本目標指標	「校区まちづくり協議会が多様な主体と連携した事業数」はR3年度実績値及び目標値を上回った。「つなげる支援室で支援調整などを行った件数」はR3年度実績値を下回った。
施策KPI	「地区防災計画策定済み地区数」、「避難行動要支援者名簿「同意リスト」を提供した小学校区数」、「「高齢者見守りサポーターやお」協力事業者の登録数」はR3年度実績値より増加し、件数の減少をめざすKPIである「大阪重点犯罪認知件数」はR3年度実績値より減少したが、「地域活動への参加状況」はR3年度実績値を下回った。
取り組み実績	施策KPI「地区防災計画策定済み地区数」は、住民が主体となって組織的に、かつ、地域ごとの特性に応じて災害に備えるために地区防災計画を策定した小学校区数をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、地区防災計画策定の意向を示している地区に対して防災計画作成支援アドバイザーの派遣等による策定支援を行い、災害リスクの高い1地区で新たに策定した。 施策KPI「避難行動要支援者名簿「同意リスト」を提供した小学校区数」は、市が災害時に高齢者や障がい者等自力での避難が難しいと思われる人の名簿（避難行動要支援者名簿）を作成し、災害時に取り残されないような体制づくりに取り組むために名簿の情報共有を行った校区まちづくり協議会数をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、令和4年度より同意者リストと合わせて、避難行動要支援者自身が記入した「わたしの避難計画」についても地域に提供し、対象者の把握や防災訓練に活用した。

○基本目標2 みんなの健康をみんなで守る健康づくりのまち

	指標・KPI	単位	基準年度	基準値	参考値	実績値	実績値	目標値	担当課	達成状況の原因分析、説明等
					R2年度	R3年度	R4年度	R6年度		
基本目標 指標	男性の健康寿命（前年数値）	歳	R1	79.3	79.3	79.63 （暫定値）	78.82 （暫定値）	80.5	保健企画課	男性の健康寿命は基準値と比較すると減少しているため、健康寿命の延伸に向けて、「八尾市健康まちづくり計画」に基づき、関係課と連携し、更なる健康づくりの推進を図る必要がある。また、男性の健康寿命の実績値が減少、女性の健康寿命の実績値が増加しているが、様々な要因が重なって影響を及ぼすため、要因を特定することは非常に困難である。なお、前年度と今年度の数値の差はわずかであり、統計学的にはいわゆる誤差の範疇にあるため、長期的な傾向に留意する必要がある。
	女性の健康寿命（前年数値）	歳	R1	83.4	83.1	83.05 （暫定値）	84.03 （暫定値）	84.6	保健企画課	女性の健康寿命は基準値と比較すると延伸をしており、今後も、健康寿命の延伸に向けて、「八尾市健康まちづくり計画」に基づき、関係課と連携し、更なる健康づくりの推進を図る。また、男性の健康寿命の実績値が減少、女性の健康寿命の実績値が増加しているが、様々な要因が重なって影響を及ぼすため、要因を特定することは非常に困難である。なお、前年度と今年度の数値の差はわずかであり、統計学的にはいわゆる誤差の範疇にあるため、長期的な傾向に留意する必要がある。
施策 KPI	健康のために運動などを心がける市民の割合	%	R2 （速報値）	48.0	—	49.1	48.3	65.0	保健企画課	健康のために運動を心がける市民の割合は、前年度より減少しているため、目標値の達成に向け、「八尾市健康まちづくり計画」に基づき、関係課と連携し、市民の健康意識の向上及び地域における健康づくりの機運醸成を図った。また、アリオ八尾にて包括連携協定を締結している第一生命保険株式会社や明治安田生命保険相互会社と連携して、キットを使用したがん検診の体験や血管年齢測定等、健康づくりに関心を持っていただくための公民連携によるイベントを実施した。
	国民健康保険加入者における特定健康診査受診率【※出納閉鎖時点】	%	R1	29.99	28.1	30.0	33.0	60.0	健康保険課	受診率については目標値に達していないものの、コロナ禍前の状況にまで回復している。今後も引き続き、受診勧奨、啓発への創意工夫等を検討するとともに、関係機関との連携を図りつつ受診率の向上に努める。
	「かかりつけ医」を持っている市民の割合	%	R2 （速報値）	74.2	—	73.3	73.2	80.0	保健企画課	外来診療機能の充実を図るため、国によるかかりつけ医に関する制度整備を見据えつつ、市民及び医療機関に対し、かかりつけ医の必要性及び役割について引き続き普及啓発等を行っていく。

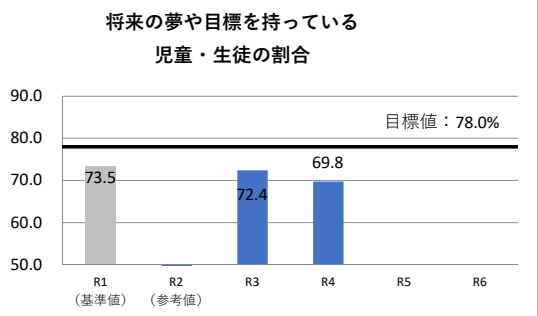
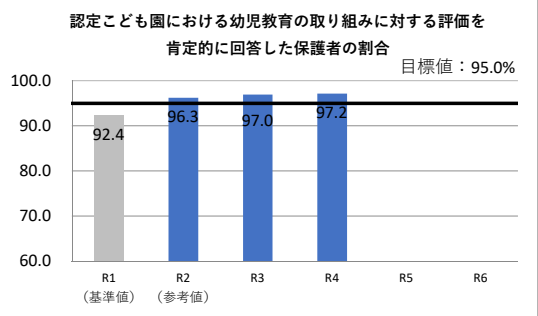


●令和4年度実績のまとめ

基本目標指標	「男性の健康寿命（前年数値）」はR3年度実績値を下回ったが、「女性の健康寿命（前年数値）」はR3年度実績値を上回った。
施策KPI	「国民健康保険加入者における特定健康診査受診率【※出納閉鎖時点】」はR3年度実績値を上回ったが、「健康のために運動などを心がける市民の割合」、「かかりつけ医」を持っている市民の割合はR3年度実績値を下回った。
取り組み実績	施策KPI「国民健康保険加入者における特定健康診査受診率【※出納閉鎖時点】」は、国民健康保険加入者に対して生活習慣病予防を目的にメタボリックシンドロームの状態にあるかを検査する特定健康診査の受診率。本施策KPIに係る取り組みとして、未受診者に対して電話や対象者の状況に応じた異なるデザインの通知による受診勧奨を行った。

○基本目標3 若い世代が自分の将来を見つめ学び、ライフプランが実現できるまち

	指標・KPI	単位	基準年度	基準値	参考値	実績値	実績値	目標値	担当課	達成状況の原因分析、説明等
					R2年度	R3年度	R4年度	R6年度		
基本目標 指標	認定こども園における幼児教育の取り組みに対する評価を肯定的に回答した保護者の割合	%	R1	92.4	96.3	97.0	97.2	95.0	こども施設運営課	園運営に概ね満足していただいているなかで、質問のうち「教育方針や子どもの様子をわかりやすく伝えている」及び「外部侵入者対策（門の施錠・来園者の安全管理など）をしている」に関して、他の質問に比べると、「そう思う」の回答が少なかったことから、園の教育方針や子どもの様子をよりわかりやすく伝えることや、外部侵入者対策の徹底に努める。
	将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合	%	R1	73.5	—	72.9	69.8	78.0	教育センター	新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期に及んでいる中、学校・地域行事の中止が続いたため、子どもたちにとって上級生や異なる世代との交流の機会を通して自分が成長した姿をイメージする機会が減少したことが指標実績低下の要因の一つであると考えられる。
施策 KPI	子ども・子育てに関する総合相談件数	件	R1	9,683	11,655	11,687	13,654	12,000	こども総合支援課	近年、子育てをとりまく環境や保護者の悩みは多様化傾向にあるほか、令和4年10月に開設した子ども子育てに関する総合相談窓口である「こども総合支援センターほっぷ」について広報を展開した結果、気軽に子育て相談ができる窓口と認知されたことで、相談件数が増加したと考えられる。
	地域子育て支援拠点における相談件数	件	R1	2,807	3,142	2,702	4,574	3,400	こども総合支援課	事業実施にあたっては、地域子育て支援センターの「公園で遊ぼう会」や「プレママ・親子相談・交流会」等について、支援が届きにくい地域を選んでその地域の公園や公民館等へ出向くといった工夫をするなど、周知に努めたこともあり相談件数は増加した。
	教育・保育入所受入れ枠（4月1日時点）	人	R1	8,306	8,517	8,725	8,771	9,314	保育・こども園課	計画に沿った形で施設整備や各園協議を行い、教育・保育枠の受入れ枠の拡大を進めており、待機児童は継続して0である。（R4.4新設3園）
	障がい児保育（保育サポート枠）の保育施設入所児童数（4月1日時点）	人	R1	194	212	212	217	220	保育・こども園課	各園協議の中で保育サポート枠の確保はできているが、目標値に向け継続して保護者への利用案内を進めていく。
	「学校に行くのは楽しい」と答えた児童の割合（児童：小学校6年生）	%	R1	85.8	87.0	85.3	84.6	87.5	学校教育推進課	「学校に行くのが楽しい」と答える背景には、学習面やクラブ活動、仲間とのかかわりや行事など、様々な要因が関連していると考えられる。R4年度の実績値は、中学校においてはR1年度の基準値や昨年度の実績値に比べて高い値となった。R4年度は、コロナ禍から学校行事が従来の形に戻ってきたこともあり、子どもたちが本来の学校の楽しさを感じられるようになってきていることが影響していると考えられる。
	「学校に行くのは楽しい」と答えた生徒の割合（生徒：中学校3年生）	%	R1	80.5	80.1	80.7	81.4	87.5	学校教育推進課	一方、小学校の数値は昨年度に比べ低くなっているため、目標値の達成に向け、より一層魅力的な学校づくりを図ってまいりたい。
	子ども・若者の健全育成に係る事業数	件	R1	341	108	128	203	352	生涯学習課	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実績値が基準値と比較して減少しているが、感染症対策を行いながら、八尾市こども会親善つな引き大会・八尾市こども会連合親善ソフトボール大会などの青少年健全育成を支援する事業を実施したことにより、前年度と比較して増加させることができた。
定住を目的とした住宅の新築・購入・リフォーム等への支援数[累積]	件	R1	426	443	520	592	606	住宅政策課	木造住宅耐震改修補助制度を活用し、18人が住宅の耐震化を行った。 また、中古住宅流通促進補助及び同居支援補助を活用し、15人が住宅を取得し、又はリフォーム工事を行った。 さらに空家の相続など空家の管理・活用方法に関するセミナーを実施し、39人の参加者があった。 令和4年度は合計72人に対して支援を実施した。	

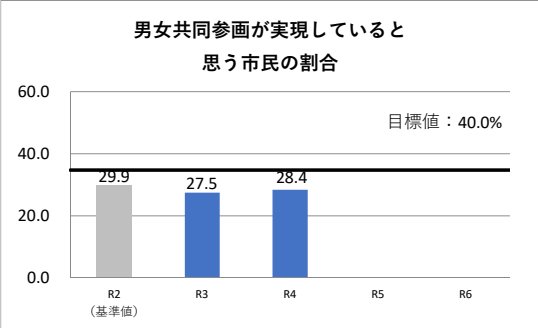
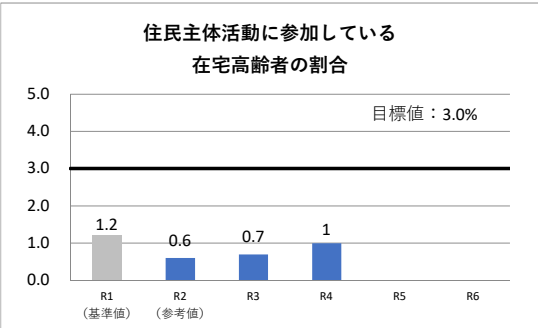


●令和4年度実績のまとめ

基本目標指標	「認定こども園における幼児教育の取り組みに対する評価を肯定的に回答した保護者の割合」はR3年度実績値及び目標値を上回ったが、「将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合」はR3年度実績値を下回った。
施策KPI	「「学校に行くのは楽しい」と答えた児童の割合（児童：小学校6年生）」以外はR3年度実績値を上回った。そのうち「子ども・子育てに関する総合相談件数」、「地域子育て支援拠点における相談件数」は目標値も上回った。
取り組み実績	施策KPI「子ども・子育てに関する総合相談件数」は、八尾市こども総合支援センターでの総合相談件数（令和4年10月までは子育て総合支援ネットワークセンター「みらい」での総合相談件数）をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、こども総合支援センター「ほっぷ」を令和4年10月に開設し、気軽に交流・相談できる環境を整えた。 施策KPI「教育・保育入所受入れ枠（4月1日時点）」は、八尾市子ども・子育て支援事業計画で定める認定こども園等の入所受け入れ枠をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、新たに認定こども園等を3園整備して保育枠の拡大を図った。4年連続で待機児童ゼロを実現することができた。

○基本目標4 誰もが自分の持つ能力や経験を活かし、地域や職場で活躍できるまち

	指標・KPI	単位	基準年度	基準値	参考値	実績値	実績値	目標値	担当課	達成状況の原因分析、説明等
					R2年度	R3年度	R4年度	R6年度		
基本目標 指標	住民主体活動に参加している在宅高齢者の割合	%	R1	1.2	0.6	0.7	1.0	3.0	高齢介護課	コロナ禍の状況で住民主体サービスや通いの場に参加を控える利用者や活動が休止となる団体があったが、令和4年度から徐々に活動を再開してきている。また、街かどデイハウスの住民主体サービスへの移行及びノルディックウォーキング等の新たな立ち上げ支援メニューによる住民主体活動が行われていることから参加者数が増加してきている。今後も、高齢者のフレイル予防の観点からも住民主体活動の継続及び立ち上げ支援の取り組みを進めていく。
	男女共同参画が実現していると思う市民の割合	%	R2 (速報値)	29.9	-	27.5	28.4	34.7	人権政策課	男女共同参画センター「すみれ」の機能を強化し、さまざまな角度から男女共同参画社会の実現をめざして働きかけを行い、令和3年度に比べて0.9ポイント上昇したが、基準値を下回った。
施策 KPI	シルバーリーダー養成講座修了者数	人	R1	43	0	26	33	80	高齢介護課	コロナ禍の影響が残るなかで、修了者数が令和3年度から増加はしているが、基準値と比較すると減少している。多くの高齢者に興味をもっていただけるよう講座内容のリニューアルなどをしており、参加者数は増えているが、連続講座に出席できないなど修了条件に満たない受講者も多く、条件の見直しや講座内容の再検討も含め、効果的な周知に努め、地域で活躍できる人材の育成に向けて取り組んでいく。
	外国人相談窓口における相談件数	件	R1	1,134	2,314	2,576	2,280	1,500	人権政策課	新型コロナウイルス感染症の感染状況が収束に向かったことにより、令和3年度に比べて相談件数は減少しているが、R2年度以降新型コロナウイルス感染症に係る相談が増えており、R4年度も目標値を上回る相談件数となっている。本市における外国人の居住状況やこれまでの相談対応の実績をふまえて、外国人市民にとって、より利便性の高い相談窓口となるよう、取り組みを進めていく。
	市の審議会、委員会などにおける女性委員の登用の割合（年度末時点）	%	R1	33.0	32.9	34.5	35.0	39.0	人権政策課	審議会等への女性委員の登用に関するポジティブ・アクションプランに基づき、積極的に女性委員の登用を推奨している。
	生涯学習施設で実施する講座等の参加者数	人	R1	92,995	18,670	33,262	32,772	111,000	生涯学習課	生涯学習施設では、臨時休館の期間があったものの講座等を開催し、市民に学習の機会を提供することができた。

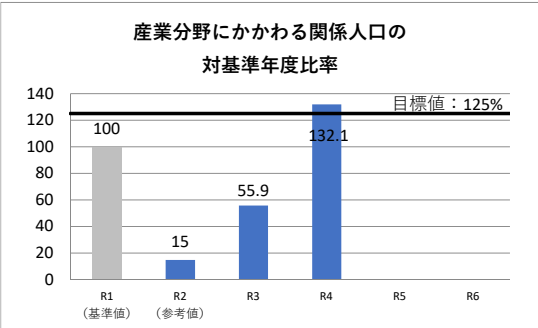
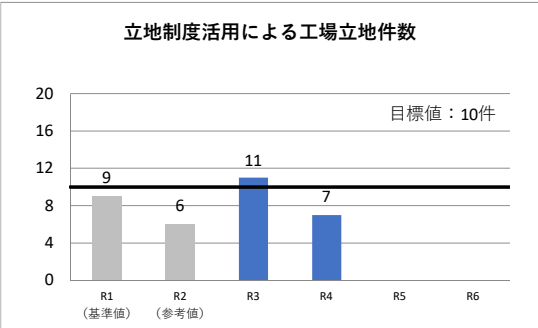


●令和4年度実績のまとめ

基本目標指標	「住民主体活動に参加している在宅高齢者の割合」、「男女共同参画が実現していると思う市民の割合」ともR3年度実績値を上回った。
施策KPI	「外国人相談窓口における相談件数」はR3年度実績値を下回ったが目標値は上回った。「シルバーリーダー養成講座修了者数」と「市の審議会、委員会などにおける女性委員の登用の割合（年度末時点）」はR3年度実績値を上回ったが、「生涯学習施設で実施する講座等の参加者数」はR3年度実績値を下回った。
取り組み実績	施策KPI「シルバーリーダー養成講座修了者数」は、65歳以上の人の知識・教養の向上を図るとともに地域活動の実践者を養成するために市が実施する講座を修了した人をカウントする指標。多くの高齢者に興味をもっていただけるよう講座内容のリニューアルなどを行うことで、参加者数の増加を図った。 施策KPI「市の審議会、委員会などにおける女性委員の登用の割合（年度末時点）」は、八尾市が設置している審議会、委員会などにおける女性委員数の割合。本施策KPIに係る取り組みとして、審議会等への女性委員の登用に関するポジティブ・アクションプランに基づき管理職への男女共同参画研修を実施し、男女共同参画に関する理解と認識を深めた。

○基本目標5 経済成長を推進する、未来志向の産業振興をめざすまち

	指標・KPI	単位	基準年度	基準値	参考値	実績値	実績値	目標値	担当課	達成状況の原因分析、説明等
					R2年度	R3年度	R4年度	R6年度		
基本目標 指標	立地制度活用による工場立地件数	件	R1	9	6	11	7	10	産業政策課	【事前送付資料から変更】 令和4年度の「八尾市ものづくり集積促進奨励金制度」の指定件数を数値目標としているが、昨年度実施した移転意向のある市内事業者アンケートから、「近隣に事業用地となる土地が無い」という回答が50%を占め、市外から新たな流入促進が難しい状態になっており、結果として、工業立地件数が目標を達成できなかったと分析する。
	産業分野にかかわる関係人口の対基準年度比率	%	R1	100.0	15.0	55.9	132.1	125.0	産業政策課	【事前送付資料から変更】 新型コロナウイルス感染症の影響による受けていた制限が徐々に緩和され、各種イベント事業が開催され、また、「まちのコイン」という地域間のコミュニケーションツールを導入したことにより、関係人口創出に寄与し、指標を大きく上回る結果となった。
施策 KPI	地域就労支援センターにおける相談者の雇用達成の割合	%	R1	44.1	35.9	26.9	26.7	40.0	労働支援課	市内160社を企業開拓員が訪問等することより、地域就労支援事業の周知を図るとともに、就労困難者の雇用について理解を求めた。また、相談者の希望する求人等を開拓する体制を整えたが、依然として就労困難者等には厳しい雇用情勢が続いており、雇用達成割合の実績値は微減している。引き続き就労実現に結びつくようきめ細かな職業紹介・就労相談を行うことにより雇用達成率の増加をめざす。
	中小企業におけるイノベーション実践数	事業	R1	55	113	689	121	63	産業政策課	新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策として「意欲ある事業者経営・技術支援補助金」の拡大実施を行ったことにより、イノベーション実践数が目標値を大きく上回った。
	八尾市立中小企業サポートセンター相談件数	件	R1	1,248	1,149	1,217	1,178	1,300	産業政策課	【事前送付資料から変更】 新型コロナウイルス感染症拡大により受けていた制限が解除され、前年度より、企業訪問を再開し、新たに対応する企業数が増え、結果的には、同じ企業の継続的な相談件数が減ることとなった。
	次世代企業家育成において市内企業がメンター役を担う割合	%	-	-	21.0	60.9	48.3	50.0	産業政策課	創業支援事業を中心に市内事業者に積極的に参画していただき、ほぼ目標を達成できた。

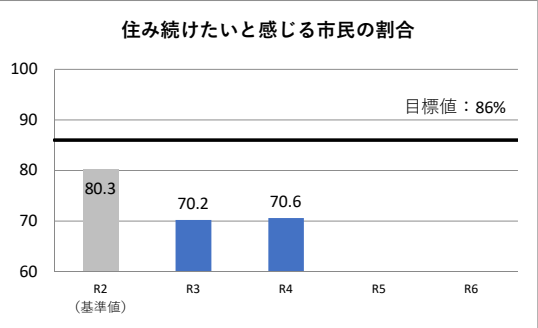


●令和4年度実績のまとめ

基本目標指標	「立地制度活用による工場立地件数」はR3年度実績値を下回ったが、「産業分野にかかわる関係人口の対基準年度比率」はR3年度実績値及び目標値を上回った。
施策KPI	いずれの施策KPIもR3年度実績値を下回ったが、「中小企業におけるイノベーション実践数」は目標値を上回った。
取り組み実績	施策KPI「中小企業におけるイノベーション実践数」は、八尾市内の中小企業の新事業に挑戦するプロジェクト数として、環山楼塾、あきんど起業塾、デザインイノベーション等におけるビジネスプラン数並びに意欲ある補助金の申請件数をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が国から交付されたことを受け、意欲ある事業者経営・技術支援補助金を拡充して、新製品の開発、新分野進出、DXやIT化推進等といった支援を実施した。

○基本目標6 行ってみたい、関わってみたい、住みつけたい、魅力があふれるまち

	指標・KPI	単位	基準年度	基準値	参考値	実績値	実績値	目標値	担当課	達成状況の原因分析、説明等
					R2年度	R3年度	R4年度	R6年度		
基本目標指標	住み続けたいと感じる市民の割合	%	R2 (速報値)	80.3	-	70.2	70.6	86.0	政策推進課	定住意向の割合は前年度と比較してわずかに増加した。年代別に見ると若者世代(20代から30代)の定住意向が低い傾向は変わっていないが、若者世代の定住意向は20代で51.0%(R3年度 46.6%)、30代で62.4%(R3年度 56.7%)となっており、前年度に比べて高くなっている。 若者世代が八尾市外に引っ越したい理由として、20代は「通勤・通学に便利」や「仕事が身近で得られやすい」、30代は「仕事と子育てを両立しやすい」、「子どもへのより良い教育環境」の割合が高い。 「通勤・通学に便利」について、調査回答者の通勤・通学先の割合は八尾市内や大阪市内、東大阪市や柏原市が73.1%となっており、これらの地域への鉄道面でのアクセスは良好と考えられるため、最寄りの鉄道駅までの距離の遠さが通勤・通学の利便性が低いと感じる要因と考えられる。 また、「子育てしやすい環境」について、質の高い教育や子育て世代への経済的な支援を求める意見が多かった。 以上のことから、特に若者世代の定住意向を高めるには、最寄りの鉄道駅までのアクセス性向上や、さらなる教育施策の充実、経済的支援を含めた子育て支援に取り組む必要がある。
施策KPI	適切な土地利用が図られ、暮らしやすいまちになったと感じる市民の割合	%	R2 (速報値)	38.9	-	36.8	36.1	40.0	都市政策課	指標はR4年度市民意識調査の設問「都市部ではそれぞれの地域特性に応じた住宅、工業、商店が立地し、郊外部では市街化が抑制され、自然環境の保全が図られていると思いますか」を活用しており、実績値は「思う」「少し思う」の合計36.1%となり、基準値から2年連続で減少している。また「わからない」「無回答」の合計23.8%を除くと「あまり思わない」「思わない」は40.1%となり「思う」「少し思う」を上回っている。 以上のことから、更に地域特性に応じた適切な土地利用が図られるよう都市計画手法の調査・検討に取り組む必要がある。
	都市計画道路の整備率	%	R1	55.2	55.4	55.5	55.7	56.2	都市基盤整備課	都市計画道路「R八尾駅前線や、久宝寺線の整備を実施した。
	コト体験型ツアーの参加者の満足度	%	-	-	-	97.8	98.0	88.0	観光・文化財課	コト体験型ツアーを14事業実施し、延べ142名の参加者となった。高い満足度を得た要因として、様々なジャンルでの非日常体験ができるプログラムを実施したこと、会員企業と連携した新たなツアーを作成したことが挙げられる。今後においても、プログラム数の増加を図るとともに、企業連携を深めながら高い満足度を維持していく。
	Instagramフォロワー数	人	R1	655	1,504	1,985	2,165	4,000	やおプロモーション・万博推進プロジェクト	投稿やプロフィールについて非フォロワーによる閲覧割合が高いことから、ハッシュタグ等の活用により広範囲へのアプローチは継続してきている。一方、フォロワー数が大きく増加しない要因として、投稿の頻度や投稿数の影響が考えられるため、安定した発信を実施するよう改善する必要がある。



●令和4年度実績のまとめ

基本目標指標	R3年度実績値を上回った。年代別に見ると若者世代(20代から30代)の定住意向が低い傾向は変わっていないが、若者世代の定住意向は20代で51.0%(R3年度 46.6%)、30代で62.4%(R3年度 56.7%)となっており、前年度に比べて高くなっている。
施策KPI	「都市計画道路の整備率」、「コト体験型ツアーの参加者の満足度」、「Instagramフォロワー数」はR3年度実績値を上回ったが、「適切な土地利用が図られ、暮らしやすいまちになったと感じる市民の割合」はR3年度実績値を下回った。
取り組み実績	施策KPI「コト体験型ツアーの参加者の満足度」は、八尾市観光協会が提供する体験プログラム「八尾物語」の参加者の満足度の割合。八尾空港から飛び立つ遊覧飛行や、河内木綿の藍染体験等の非日常体験ができるプログラムを実施した。 施策KPI「Instagramフォロワー数」は、Instagramの八尾市公式アカウントにおけるフォロワー数をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、Instagramの八尾市公式アカウント非フォロワーへのアプローチとして、ハッシュタグ等を活用した投稿を継続して行い、フォロワー数の増加に努めた。